



斎藤 嘉和

介護保険料はどうなる

町値上げは避けられない

第6期計画では、借入金返済等を含めた推計となる。

Q 平成26年度で第5期介護保険事業計画が終わる。平成27年度からの介護保険事業計画について問う。

〈町長〉 第6期計画は、団塊の世代が75歳になる2025年を見据えたものとする。計画期間中の給付費の推計、保険料の算定、2025年のサービス水準、サービス充実の方向性、生活支援サービスの整備等がどう変化するかなどの検証が必要となる。また、第5期計画期間中の給付費の伸びが計画以上となり、群馬県財政安定化基金貸付金を借り入れて事業を実施してい

Q 第6期計画では、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や小規模多機能型施設などの整備計画はあるか。

〈健康福祉課長〉 計画している。

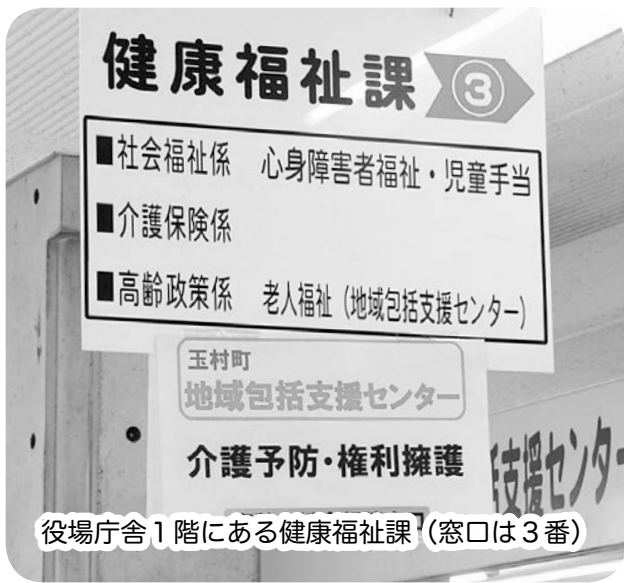
Q 法改正が行われた要介護度の低い人向けのサービス事業には、どう取り組むのか。

〈町長〉 6月に「医療・介護総合確保推進法」が成立し、国から介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン案が示されている。要支援者の予防給付の訪問

介護と通所介護については、市町村が実施する新しい総合事業に移行する。

Q 第6期計画では、介護保険料はおよそ幾らになるか。基

準額で月6000円近くなるのか。
〈健康福祉課長〉 介護保険運営協議会を初め、関係各位の協力を得て決めたい。



玉村町が未来へ羽ばたくための道筋の進捗状況を問う



三友 美恵子

町民とともに魅力ある町を築くため各種事業を積極的に進めている

Q 「玉村町子ども・子育て支援事業計画」の策定状況はどうか。

〈町長〉 今年度の下半期には事業計画のパブリックコメントを行い、平成27年4月からの本格施行を目指す。新第4保育所が4月にオープンすれば、待機児童対策として期待できる。また「幼保連携型認定こども園」の事業実施の可能性も探っていく。放課後児童クラブについては、定員オーバーが見込まれる玉小校区は、(旧) 桐生信用金庫玉村支店跡地を整備し、2階に設置する予定である。

Q 「井田家(和泉家)主屋国登録有形文化財登録記念事業」の進捗事業と、歴史資産を生かしたまちづくり事業との位置づけはどのようになっているか。

〈町長〉 9月27日に和泉屋酒蔵で行われる記念事業「いしざかびんが酒蔵シャソソライブ」は、第5次玉村町総合計画の施策の具体的な事業である。歴史資産は活用され、その価値を多くの町民が共有すること



筑井 あけみ

文化センター周辺地区開発の

目的と今後の事業計画は

町 人口減少対策として

本地区の定住促進事業を着実に進めていく

Q 文化センター周辺地区開発における土地区画整理事業の成立性を問う。

〈町長〉 この地区は、玉村町都市計画マスタープランにおいて「住宅系構想市街地」として位置づけている。定住人口の増加を

図るための受け皿として、面整備によるまちづくりを行う。玉村町の地価水準は低く、民間事業者では良好な都市基盤と一体的に住宅を供給することが難しいため、町が事業主体となり土地区画整理事業を行う。財源は、国

庫補助金と一般財源である。

Q 住宅供給についての計画と進捗状況は。

〈町長〉 1区画約70坪の土地を200区画造成する計画である。造成された土地をハウスメーカーへ販売し、その後ハウスメーカーから住宅購入希望者へ供給される。

Q 人口減少対策に
なると考えるか。

〈町長〉 当町の人口減少の主な原因は、町外へ転出してしまう社会減であることがわかった。適切な住宅用地がないことが主な理由である。教育・福祉・環境・生涯学習な

どさまざまな分野の施策を進めることで定住促進が図られ、人口減少対策になるものと考ええる。

Q 産業振興を促進する土地利用事業について、新たな工業用地確保の計画は。

〈町長〉 現在、東部工業団地の東側6ヘクタールと西側6ヘクタールの約12ヘクタールについて、工業専用地域として市街化区域に編入する手続及び地権者交渉を進めている。町内企業へ用地提供を行い、町外に出ていかないうような対策の一つとして考えている。

により保存へとつながる。今後とも積極的に歴史資産を生かしたまちづくり事業を進めていく。来年4月オープン予定のたまむら道の駅（仮称）にレンタサイクルを置き、町をめぐってもらうことも考えている。

Q 町内木造住宅の耐震診断・耐震改修の進捗状況は。

〈町長〉 平成26年度から耐震改修補助制度を創設した。制度の周知を図り、町の住宅耐震化向上に取り組んでいる。

文化センター周辺地区



井田家主屋 国登録有形文化財登録記念事業
「いしざかびんが酒蔵 ジャズソングライブ」

